

町田市次世代育成支援対策推進後期行動計画  
特定 12 事業に係る目標事業量

2010年2月

# 目 次

## **第 1 章 次世代育成支援対策推進行動計画について**

- 1．次世代育成支援対策推進法とは？
- 2．計画の位置づけと計画期間
- 3．町田市保育サービス 3 カ年計画との関係

## **第 2 章 後期行動計画の策定にあたって**

- 1．行動計画に関するアンケート調査の結果について
- 2．推計ニーズ量について
- 3．目標事業量について
- 4．町田市の人口推計について

## **第 3 章 特定 1 2 事業の目標事業量**

- 1．特定 1 2 事業とは？ 前期計画との関連
- 2．特定 1 2 事業における実績と目標事業量
  - 通常保育事業
  - 特定保育事業
  - 延長保育事業
  - 夜間保育事業
  - トワイライトステイ事業
  - 休日保育事業
  - 病児・病後児保育事業
  - 放課後児童健全育成事業
  - 地域子育て支援拠点事業
  - 一時預かり事業
  - ショートステイ事業
  - ファミリーサポートセンター事業

# 第 1 章 次世代育成支援対策推進行動計画について

## 1 . 次世代育成支援対策推進法とは？

次世代育成支援対策推進法とは、国が2003年7月に制定した子育てに関する法律のことです。この法律は、我が国における急速な少子化の進行並びに家庭及び地域を取り巻く環境の変化に対応して、次世代育成支援対策に関し必要な事項を定めることにより、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される社会になることを目的としています。

## 2 . 計画の位置づけと計画期間

次世代育成支援対策推進法の第8条に、【市町村は、行動計画策定指針に即して、五年ごとに、当該市町村の事務及び事業に関し、五年を一期として、地域における子育ての支援、母性並びに乳児及び幼児の健康の確保及び増進、子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備、子どもを育成する家庭に適した良質な住宅及び良好な居住環境の確保、職業生活と家庭生活との両立の推進その他の次世代育成支援対策の実施に関する計画(以下「市町村行動計画」という。)を策定するものとする。】と定められています。

この法に基づき、町田市では2004年12月に「町田市子どもマスタープラン」(町田市における子ども施策の基本計画)を策定し、その中に「町田市次世代育成支援対策推進前期行動計画」(2005年から2009年)を掲載しました。この行動計画の前期5年が2009年度をもって終了することから、このたび後期5年(2010年から2014年)の行動計画を策定し、\*特定12事業に係る目標事業量(後に解説)を公表するものです。

## 3 . 町田市保育サービス3ヵ年計画との関係

次世代育成支援対策推進行動計画は、アンケートの調査結果から作成したものです。一方で「町田市保育サービス3ヵ年計画」は、待機児童数などの状況から、取り組み可能な保育サービスの定員増計画を示したものです。

これは、町田市における認可保育所の待機児童数が、2008年の234名から2009年の417名と大幅に増加したことなど、社会状況の変化を踏まえたものです。ここでは、認可保育所・認証保育所・家庭福祉員・認定こども園(認可外保育施設)それぞれの定員について2012年度までの見込み数値を示しています。

\*「町田市保育サービス3ヵ年計画」は、町田市のホームページからご覧いただくことができます。

町田市公式ホームページ (<http://www.city.machida.tokyo.jp>) 子ども 保育園  
町田市保育サービス3ヵ年計画

## 第2章 後期行動計画の策定にあたって

### 1. 行動計画に関するアンケート調査の結果について

2009年2月に、次世代育成支援対策推進法に基づき、国から示された設問項目について、無作為に抽出した5,000人の保護者（就学前児童保護者3,000人、小学校1～3年の保護者2,000人）に郵送によるアンケート調査を行いました。

調査期間 2009年2月5日～2月20日  
回収状況 有効回収数 2,838通 回収率 56.8%

このアンケートは保育サービスの利用意向を調査したもので、この調査において「保育サービス」とは、認可保育所、認定こども園、家庭福祉員（いわゆる保育ママ）、事業所内保育施設、認証保育所、その他の保育施設、幼稚園（通常の就園時間）、幼稚園（通常の就園時間を延長して預かるサービス）、ベビーシッター、ファミリーサポートセンター等で定期的に受けているサービスのことを指します。

調査結果は、町田市のホームページ（<http://www.city.machida.tokyo.jp>）の市政情報市の取組み 子育て・子育てに関する取組み 町田市子どもマスタープランにて公表しています。

### 2. 推計ニーズ量について

前述のアンケートの結果から、保育サービスを「利用したい」とする利用意向を数値化し、アンケート結果から得られた数値に、国から指定された算出方式により、潜在家族類型、推計児童数、利用意向率を乗じて算出したものです。

推計ニーズ量は、あくまでアンケートによる希望数値を調査したもので、実際の利用予測ではありません。

潜在家族類型・・・ニーズ調査にご協力いただいた方の家族を、国から指定された型に分類します。（ひとり親・フルタイム共働き・専業主婦(夫)など）  
それぞれの中で「すぐにでも働きたい」という希望を保育の潜在ニーズとしてとらえ、国から指定された算出方式により計算し、潜在家族類型としました。

推計児童数・・・2014年の推計人口から、0歳～2歳・3～5歳・6～8歳に分けて各事業に該当する推計児童数を当てはめています。

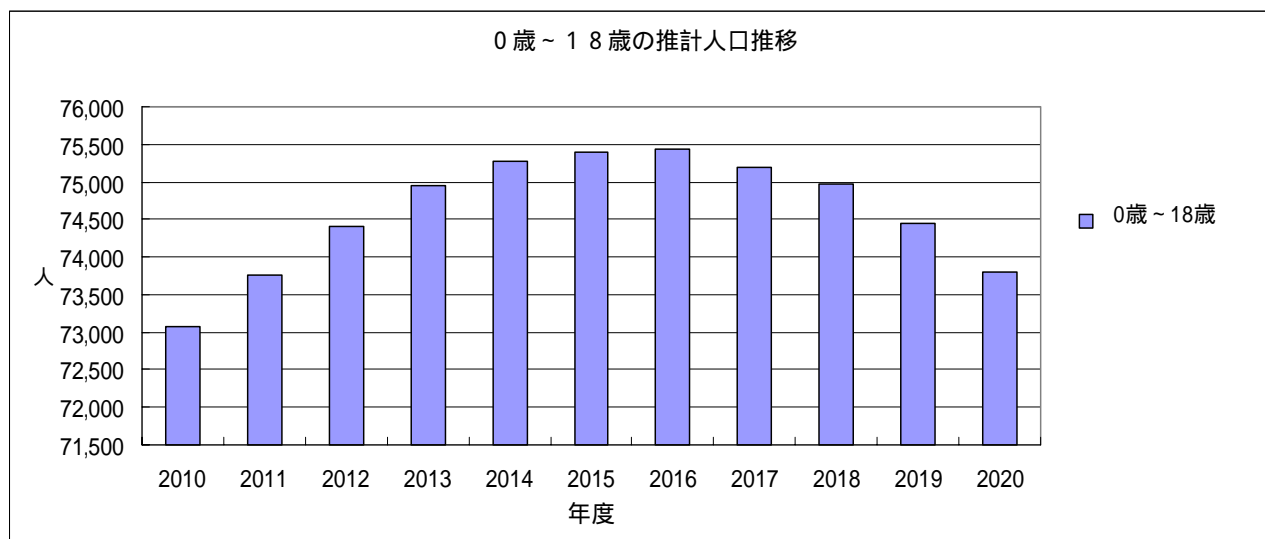
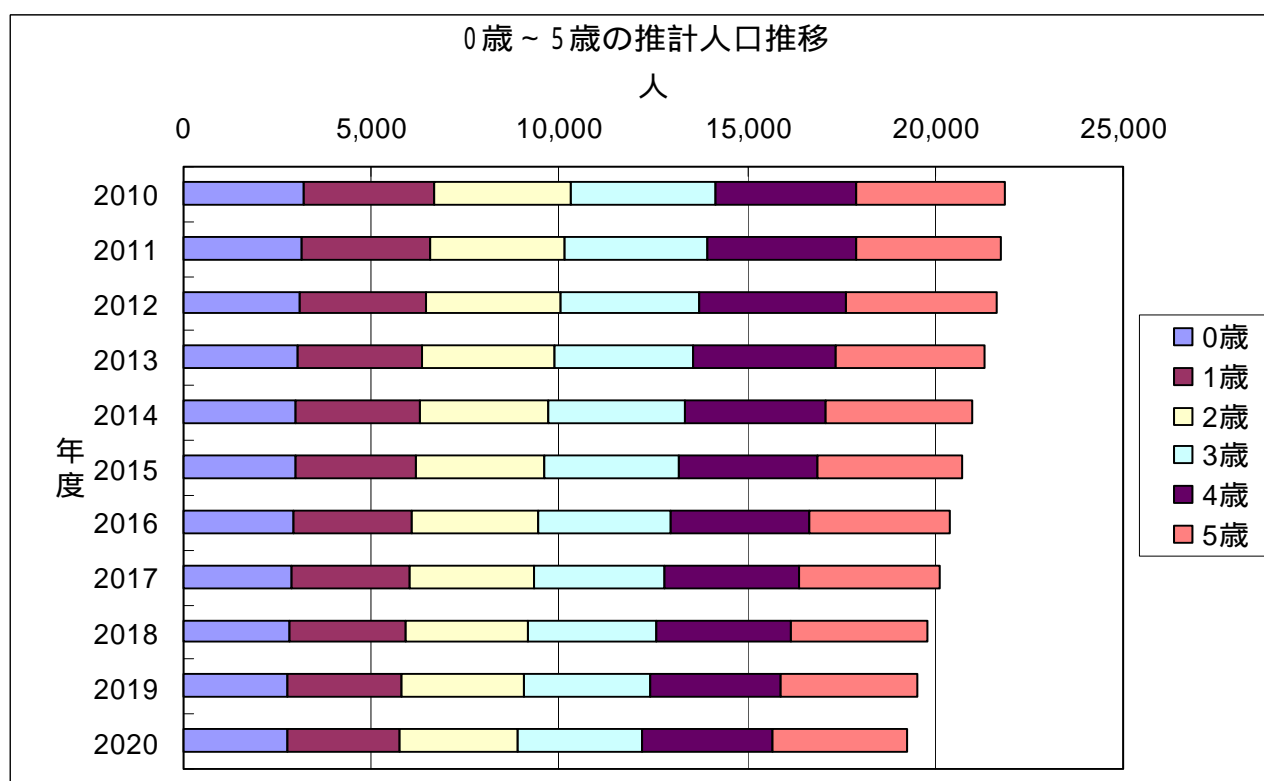
利用意向率・・・各事業において、現在利用している割合（利用率）に「現在利用していないが利用したい意向がある」割合を加えたものです。

### 3. 目標事業量について

目標事業量とは、次世代育成支援対策推進法第8条第1項に基づき、国から指定された\*特定12事業について、後期5年の目標事業量を、それぞれの保育サービスの利用実績をもとに設定するものです。目標事業量の指標は、事業により定員数・設置箇所数・日数などが指定されています。

### 4. 町田市の人口推計について

推計ニーズ量の算出に用いた推計人口は、2007年1月1日住民基本台帳登録人口及び外国人登録人口に基づく町田市の人口推計結果（町田市政策経営部経営改革室作成）を用いています。



### 第3章 特定12事業の目標事業量

#### 1. 特定12事業とは？ 前期計画との関連

特定事業とは、法に基づき全国共通で設定されている保育サービスの事業項目のことです。このそれぞれの事業について、市町村は目標値を設定し、公表することが義務付けられています。前期計画では特定14事業と指定されていましたが、病児・病後児保育および地域子育て支援事業がひとつの事業となり、後期計画では特定12事業となっています。事業の名称や順序なども一部変更している部分があります。

2005 年前期計画時の特定 14 事業	2009 年後期計画時の特定 12 事業
保育園通常保育事業 放課後児童健全育成事業 病後児保育（施設型） 病児保育（派遣型） 一時保育事業 延長保育事業 休日保育事業 子どものショートステイ事業 子どものトワイライトステイ事業 地域子育て支援センター事業 （子育てひろば） つどいのひろば事業 （子育てひろばC型） 特定保育事業 夜間保育事業 ファミリーサポートセンター事業	通常保育事業 特定保育事業 延長保育事業 夜間保育事業 トワイライトステイ事業 休日保育事業 病児・病後児保育事業 放課後児童健全育成事業 地域子育て支援拠点事業 一時預かり事業 ショートステイ事業 ファミリーサポートセンター事業

## 2. 特定 12 事業における実績と目標事業量

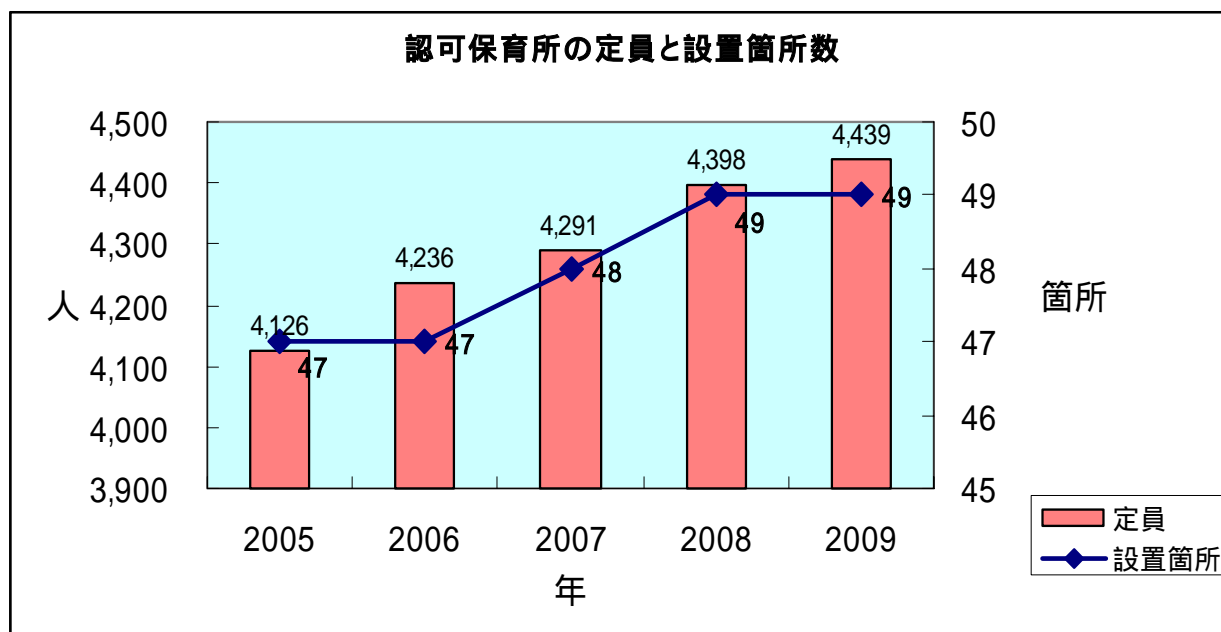
### 通常保育事業

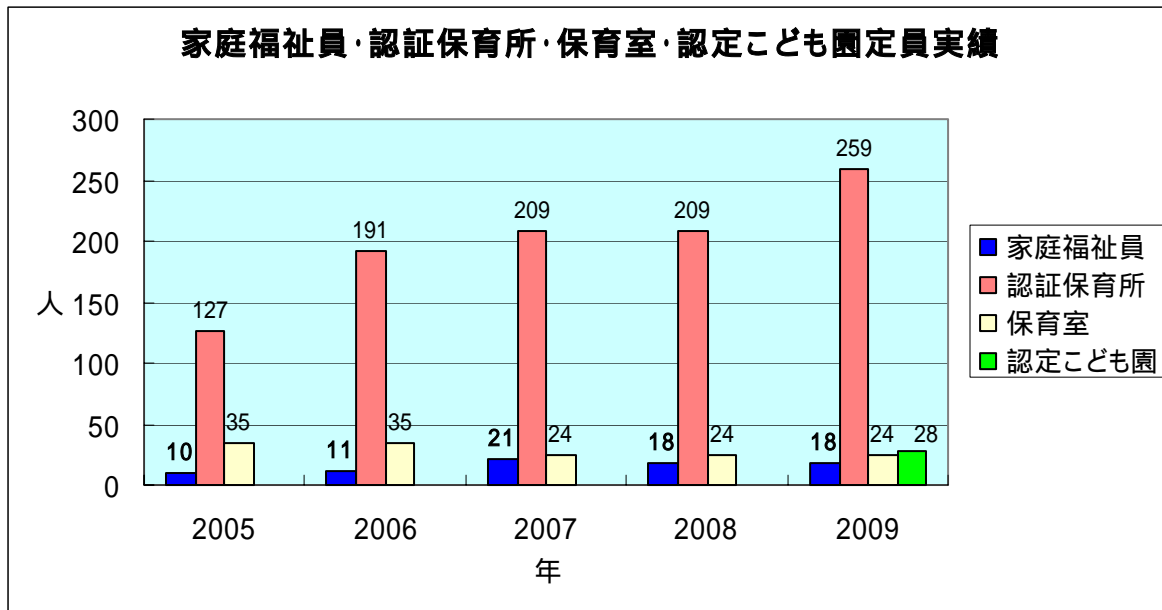
通常保育事業とは、認可保育所（国が定めた設置基準をクリアし、都道府県に認可された施設）および認証保育所（東京都独自の基準で設置した施設）、保育室（東京都が定めた小規模な認可外保育施設）、家庭福祉員（区市町村が認定した家庭福祉員の自宅で保育する制度）、認定こども園（幼稚園等が教育と保育の両方の機能を提供する施設）を合わせた保育サービスのことです。

#### (1) 実績（各年4月1日の定員）

	認可保育所		家庭福祉委員		認証保育所		保育室		* 認定こども園	
	定員	箇所数	定員	箇所数	定員	箇所数	定員	箇所数	定員	箇所数
2005年	4126	47	10	3	127	5	35	3		
2006年	4236	47	11	3	191	7	35	3		
2007年	4291	48	21	5	209	7	24	2		
2008年	4398	49	18	4	209	7	24	2	0	0
2009年	4439	49	18	4	259	7	24	2	28	1

\* 認定こども園は、認可外保育部分（0歳～2歳）のみの定員を記載しています。認可外保育部分は2008年5月1日から開園したため、4月1日の定員は0になっています。





## (2) 推計ニーズ量 (アンケートによる希望数値)

「今は利用していないが今後利用したいと思われる保育サービス」という設問項目で、認可保育所および認証保育所・保育室・家庭福祉員・認定こども園等を選んだ数値(複数回答)に国が指定した方式により算出して得た希望数値が推計ニーズ量です。

	A 認可保育所			B 認可保育所+*その他の保育サービス		
	3歳未満児	3歳以上児	合計	3歳未満児	3歳以上児	合計
2014年度 推計ニーズ量	3,099人	3,543人	6,642人	4,071人	4,391人	8,462人

\* その他の保育サービス・・・認証保育所・保育室・家庭福祉員・認定こども園(保育部分)を含めた認可保育所以外の保育サービスのことです。

### < 説明 >

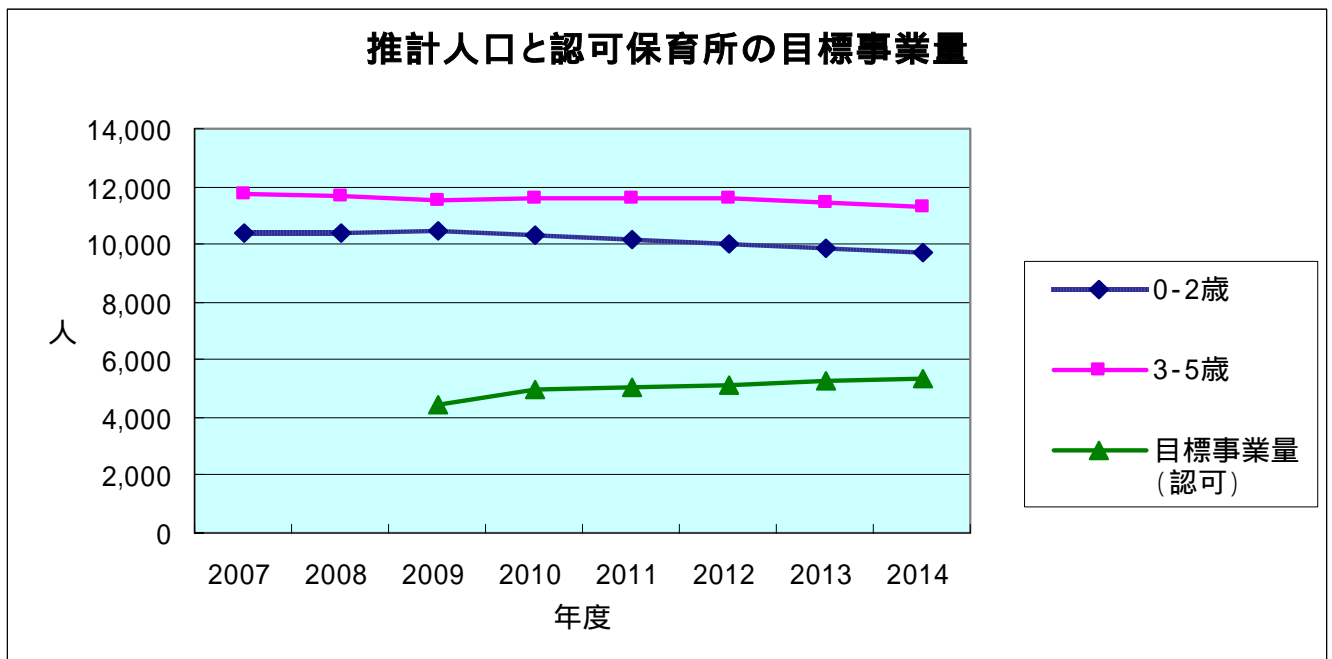
【A 認可保育所】の推計ニーズ量は、アンケートの設問項目で「認可保育所を利用したい」と答えた方の数値に、国が指定した方式により、潜在家族類型、推計児童数、利用意向率を乗じて算出した数値です。【B 認可保育所+その他の保育サービス】の推計ニーズ量は、同じ設問項目で、認可保育所だけでなく、認証保育所・保育室・家庭福祉員・認定こども園なども「利用したい」と答えた方の数値も含めて、【A 認可保育所】と同様に算出した数値です。



### (3) 目標事業量

利用実績等を参考に、以下のとおり目標事業量を設定しました。

	認可保育所		家庭福祉員		認証保育所		保育室	
	人数	箇所数	人数	箇所数	人数	箇所数	人数	箇所数
2009年 4月1日 現在の定員	4,439 人	49箇所	18人	4箇所	259人	7箇所	24人	2箇所
2014年度 目標事業量	5,578 人	60箇所	92人	20箇所	269人	7箇所	12人	1箇所



## 2. 特定保育事業

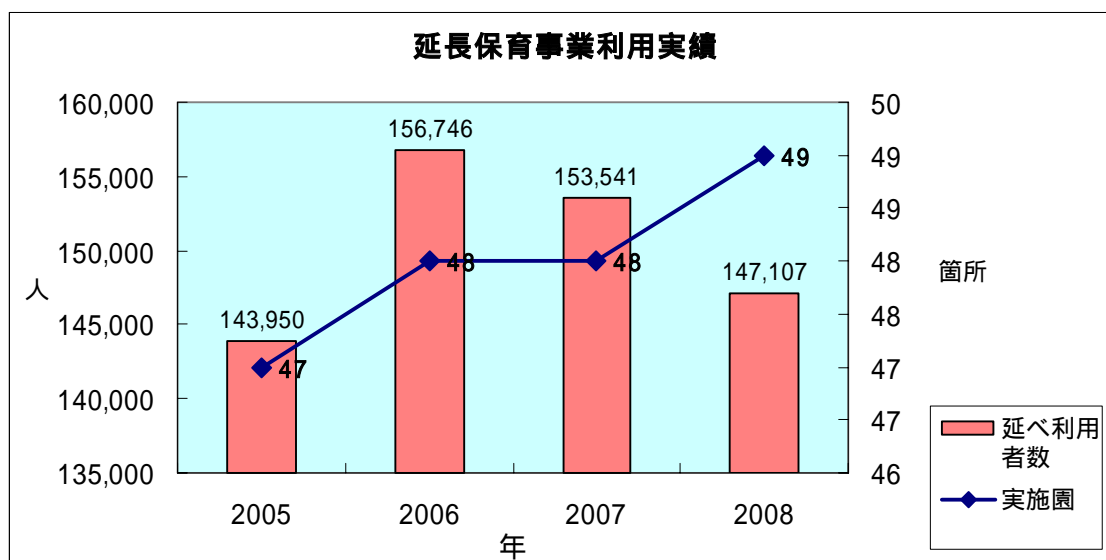
特定保育事業とは、保護者が1ヶ月あたりおおむね64時間以上子どもを保育できないと認められ、かつ、同居の親族等が保育できないと認められる就学前児童が対象です。町田市では、通常保育事業の待機児童の解消を最優先課題としているため、現在、特定保育事業は実施していません。今回のアンケート調査では、国から示された設問項目に該当するものがないので、推計ニーズ量および目標事業量は算出していません。

### 3. 延長保育事業

延長保育事業とは、基本となる 11 時間（おおむね 7 時から 18 時）保育の前後の時間を延長して行う保育のことです。町田市では、49 箇所の認可保育園で延長保育事業（18 時以降の保育）を行っています。

#### (1) 実績

	年間のべ利用人数	実施園
2005 年	143,950 人	47
2006 年	156,746 人	48
2007 年	153,541 人	48
2008 年	147,107 人	49



延長保育時間	2009 年 4 月 1 日 現在の実施園
1 時間延長（19 時まで）実施園	33 園
2 時間延長（20 時まで）実施園	14 園
3 時間延長（21 時まで）実施園	1 園
4 時間延長（22 時まで）実施園	1 園

#### (2) 延長・夜間・トワイライトステイ事業の推計ニーズ量（アンケートによる希望数値）

	18～20 時未満	20～22 時未満	22 時～翌朝 5 時
2014 年度推計ニーズ量	6,128 人	1,427 人	171 人

<説明>

延長保育事業・夜間保育事業・トワイライトステイ事業の推計ニーズ量は、18 時以降を3つの時間帯(18～20 時未満、20 時～22 時未満、22 時～翌朝 5 時まで)で区切り、国が示した項目により、利用希望を調査しました。希望数値の中には、現在このサービスを使っていない人と現在すでに利用し、時間延長を希望する人の数も含まれます。

(3) 目標事業量

	定員	箇所数
2009 年 4 月 1 日 現在の定員	4,439 人	49 箇所
2014 年度目標事業量	5,578 人	60 箇所

\* 目標事業量は国の指定により、定員で算出することとなっています。  
過去の実績を考慮し、設定しています。

4 . 夜間保育事業

夜間保育事業とは、児童福祉法に基づく設置認可を受けた保育所が 22 時頃までの保育を行うことです。町田市では現在、夜間保育事業は行っていませんが、市立町田保育園が 22 時までの延長保育を実施しています。今後は市立町田保育園における 4 時間の延長保育の利用状況等を見ながら検討していきます。

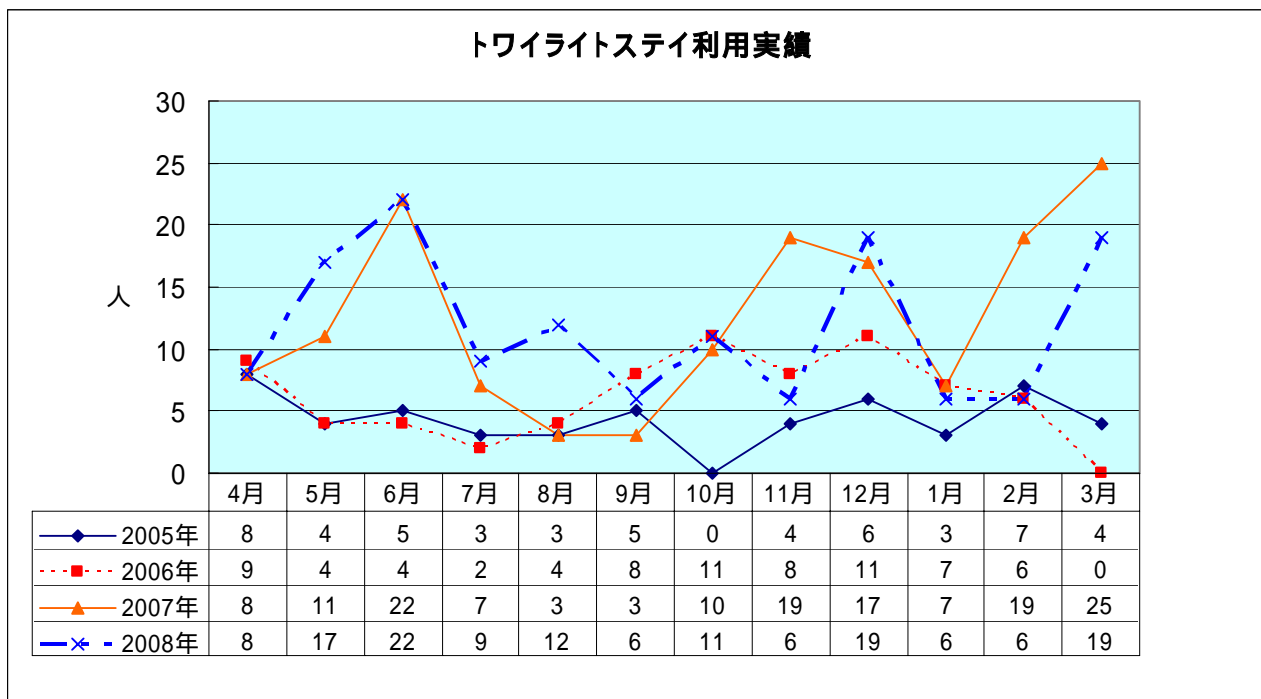
【9 ページ下段表の再掲】延長・夜間・トワイライトステイ事業の推計ニーズ量  
(アンケートによる希望数値)

	18～20 時未満	20～22 時未満	22 時～翌朝 5 時
2014 年度推計ニーズ量	6,128 人	1,427 人	171 人

## 5. トワイライトステイ事業

トワイライトステイ事業は、保護者の方が仕事や家族の介護等で帰宅が夜間におよぶ際に、お子さんを22時までお預かりする保育サービスです。町田市では、ショートステイの家「マルガリータ」で行っています。

### (1) 実績



### (2) 【9ページ上段表の再掲】延長・夜間・トワイライトステイ事業の推計ニーズ量 (アンケートによる希望数値)

	18～20時未満	20～22時未満	22時～翌朝5時
2014年度推計ニーズ量	6,128人	1,427人	171人

### (3) 目標事業量

	定員	箇所数	2005年～2008年 利用実績
2009年4月1日 現在の定員	5人	1箇所	1日平均 0.29人
2014年度目標事業量	5人	1箇所	(月30日として計算)

\* 目標事業量は国の指定により、定員で算出することとなっています。  
実績を考慮し、設定しています。

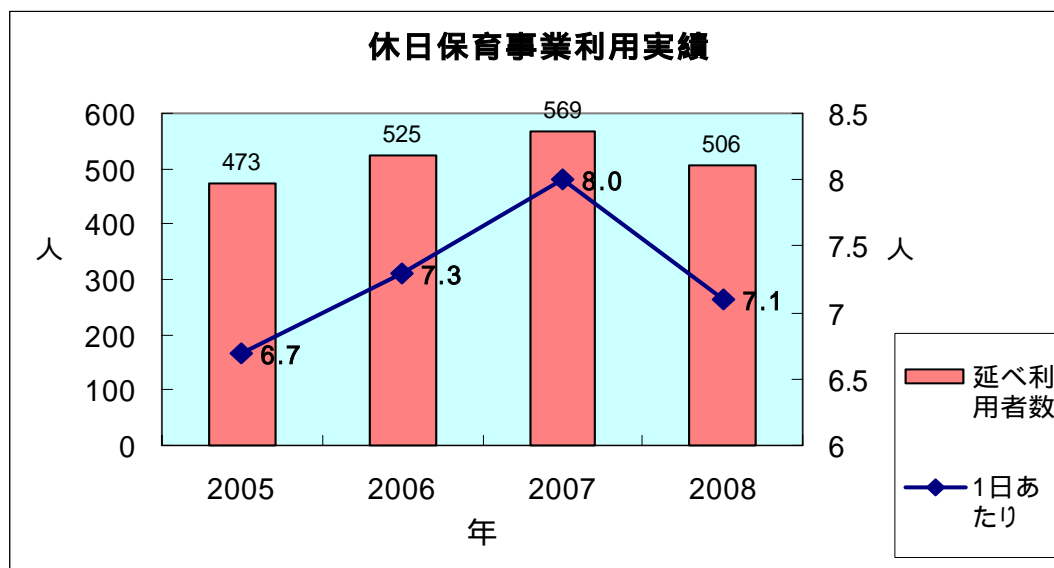
## 6. 休日保育事業

休日や祝日に仕事・看護・冠婚葬祭等の理由で家庭保育ができないときに、お子さんをお預かりする保育サービスです。(年末・年始は除きます)町田市では、市立わかば保育園で行っています。

### (1) 実績

年度	施設数	年間のべ利用者数	休日1日平均利用数	1日あたり利用可能人数
2005年度	1箇所	473人	6.7人	20人
2006年度	1箇所	525人	7.3人	20人
2007年度	1箇所	569人	8.0人	20人
2008年度	1箇所	506人	7.1人	20人

\* 年間の休日を71日として算出



### (2) 推計ニーズ量 (アンケートによる希望数値)

	定員
* 2014年度推計ニーズ量	2,607人 (1日平均37人)

#### <説明>

休日保育の推計ニーズ量は、アンケートの設問項目で、「私用やリフレッシュ目的、親の病気や就労などで、この1年間でお子さんを家族以外の誰かに預けたことはありますか」との設問に「はい」と答えた方が、「今は利用していないが、今後利用したい、回数を増やしたい」と答えた日数に、潜在家族類型、推計児童数、利用意向率をかけて算出しました。「できれば利用したい」という希望を聞いているため、その数値は大きくなっています。

(3) 目標事業量

	定員	箇所数	2005年～2008年 利用実績
2009年4月1日 現在の定員	20人	1箇所	
2014年度目標事業量	20人	1箇所	

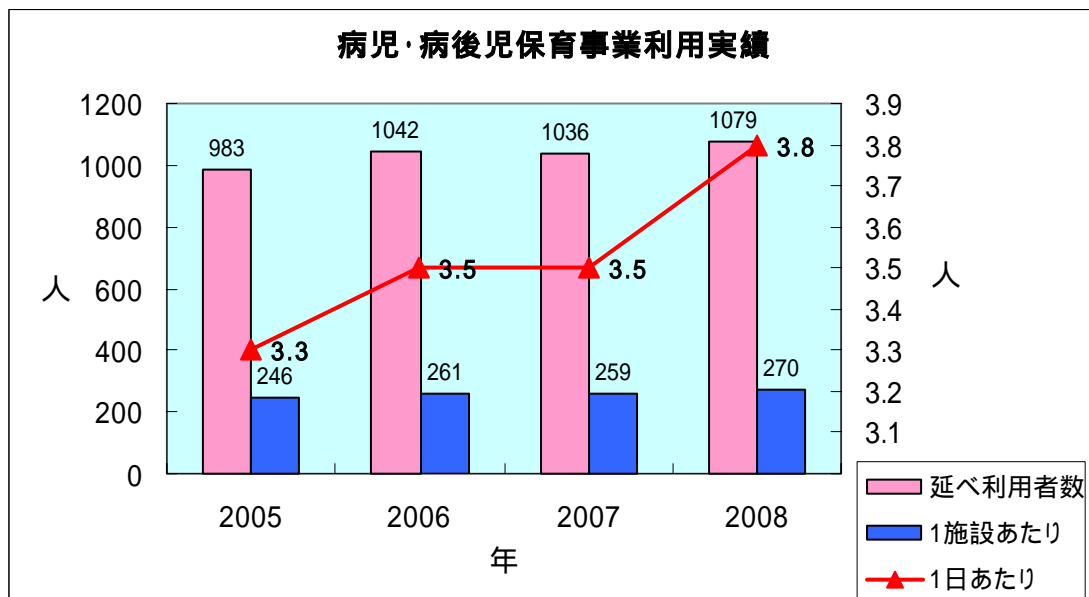
\* 目標事業量は実績を考慮し、設定しています。

7. 病児・病後児保育事業

病児・病後児保育事業とは、病中又は病気の回復期のお子さんを、保育所・医療機関等に付随して設けられた専用スペース等でお預かりする保育サービスです。町田市では、病児保育は「はやくクリニック病児保育室」で、病後児保育は「小野路保育園第一分園病後児保育室つくし組」、「ききょう保育園病後児保育室ひまわり」、「高ヶ坂ふたば保育園病後児保育室こすもす」の病児保育1箇所、病後児保育3箇所の計4箇所で行っています。

(1) 実績

年度	施設数	年間のべ利用者数	1日平均利用者数	利用可能人数
2005年度	4箇所	983人	3.3人	16人
2006年度	4箇所	1,041人	3.5人	16人
2007年度	4箇所	1,036人	3.5人	16人
2008年度	4箇所	1,079人	3.8人	16人



( 2 ) 推計ニーズ量 ( アンケートによる希望数値 )

	のべ日数
* 2014 年度推計ニーズ量	101,164 日

< 説明 >

病児・病後児保育の推計ニーズ量は、アンケートの設問項目で「お子さんが病気の時、施設に預けたいと思ったことがありますか」との設問に「はい」と答えた方の「今後利用したい年間希望日数」に、潜在家族類型、推計児童数、利用意向率を乗じて算出しました。「子どもが病気の時  
は利用したい」という希望日数を合計しているため、推計ニーズ量は大きくなっています。

( 3 ) 目標事業量

	利用可能日数	箇所数	2005 年～2008 年 利用実績
2009 年度利用可能日数	4,704 日	4 箇所	1 日平均 3.5 人 年間利用者数平均 1,035 人
2014 年度目標事業量	4,704 日	4 箇所	

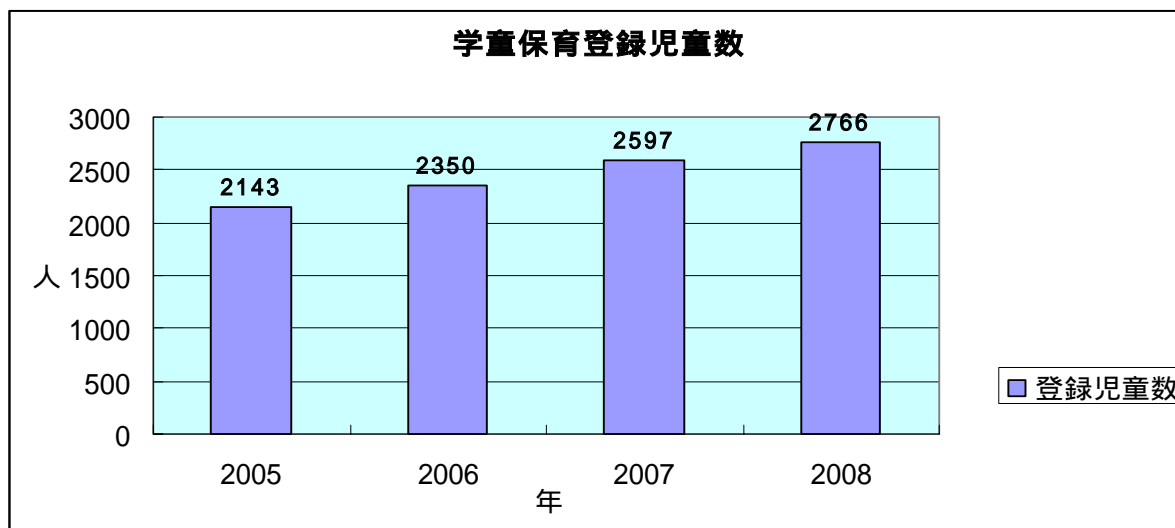
\* 目標事業量は、国の指定により日数で算出しています。

4,704 日は、年間開所日数 294 日 × 定員 4 名 × 施設数 4 箇所 で、年間の受け入れ可能な合計日数を算出しています。

## 8. 放課後児童健全育成事業（学童保育クラブ）

放課後児童健全育成事業（学童クラブ）とは、保護者が就労等により、昼間家庭にいないおおむね 10 歳未満の小学生を対象に、授業終了後、組織的に指導を行い、学童の事故防止と心身の健全な育成を図る事業です。

### （1）実績



学童保育クラブの登録児童数は年々増加の傾向にあります。町田市では、1 小学校区に 1 学童保育クラブを設置するという目標は達成しました。今後は大規模学童保育クラブのあり方など、実状に即して検討していきます。

### （2）推計ニーズ量（アンケートによる希望数値）

	定員（児童数）
2014 年度推計ニーズ量	4,030 人

### （3）目標事業量

	定員（児童数）	実施箇所
2009 年 4 月 1 日 現在の定員	3,125 人	42 箇所
2014 年度目標事業量	3,665 人	43 箇所



## 9. 地域子育て支援拠点事業（子育てひろば）

地域子育て支援拠点事業とは、地域において、子育て親子の交流の促進や子育てに関する相談、情報の提供等を行う子育て支援の拠点を設置・促進する事業です。町田市では、公立保育園（地域子育てセンター）7園、法人立保育園15園、集いのひろば2箇所（カンガルーポッケ・ききょう保育園のあじさい広場）で実施しています。

今回のアンケート調査では、国から指定された算出項目に該当するものがないので、推計ニーズ量は算出していません

### （1）実績

	2005年	2006年	2007年	2008年
法人立保育園	13	13	12	15
公立保育園 （地域子育てセンター）	7	7	7	7
集いのひろば	1	1	2	2
合計	21	21	21	24

### （2）目標事業量

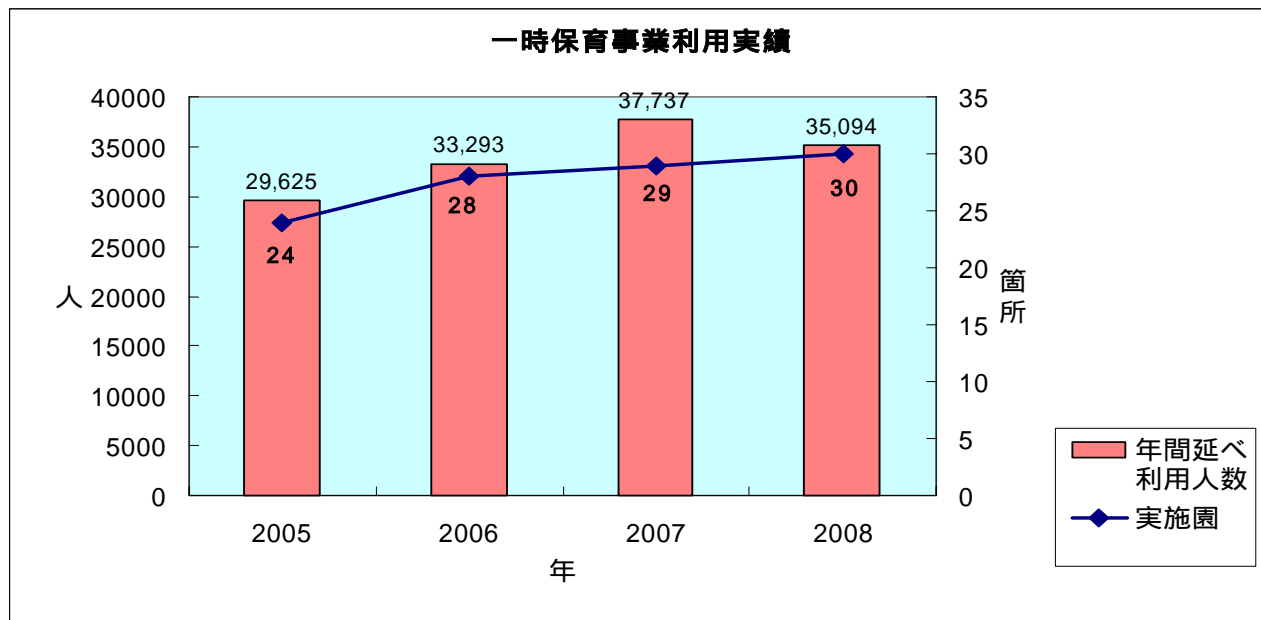
	実施箇所
2009年4月1日 現在実施箇所	24箇所
2014年度目標事業量	33箇所

\* 目標事業量は、実績を考慮し、設定しています。

## 10. 一時預かり事業

一時預かり事業とは、日中、家庭での保育が一時的に困難になった場合、保育所等で、一時的にお子さんをお預かりする事業です。町田市では、33 箇所の保育所で一時預かり事業を行っています。

### (1) 実績



### (2) 推計ニーズ量 (アンケートによる希望数値)

	日数
2014 年度推計ニーズ量	1,634,281 日

#### <説明>

一時預かり事業の推計ニーズ量は、アンケートの設問項目で、「今は利用していないができれば利用したい、あるいは利用日数・回数を増やしたいと思いますか」との設問に答えた方の年間利用希望日数に、推計児童数、発生頻度、利用意向率を乗じて算出したのが推計ニーズ量です。「できれば利用したい」という希望日数を合計しているため、大きな数値となっています。

### (3) 目標事業量

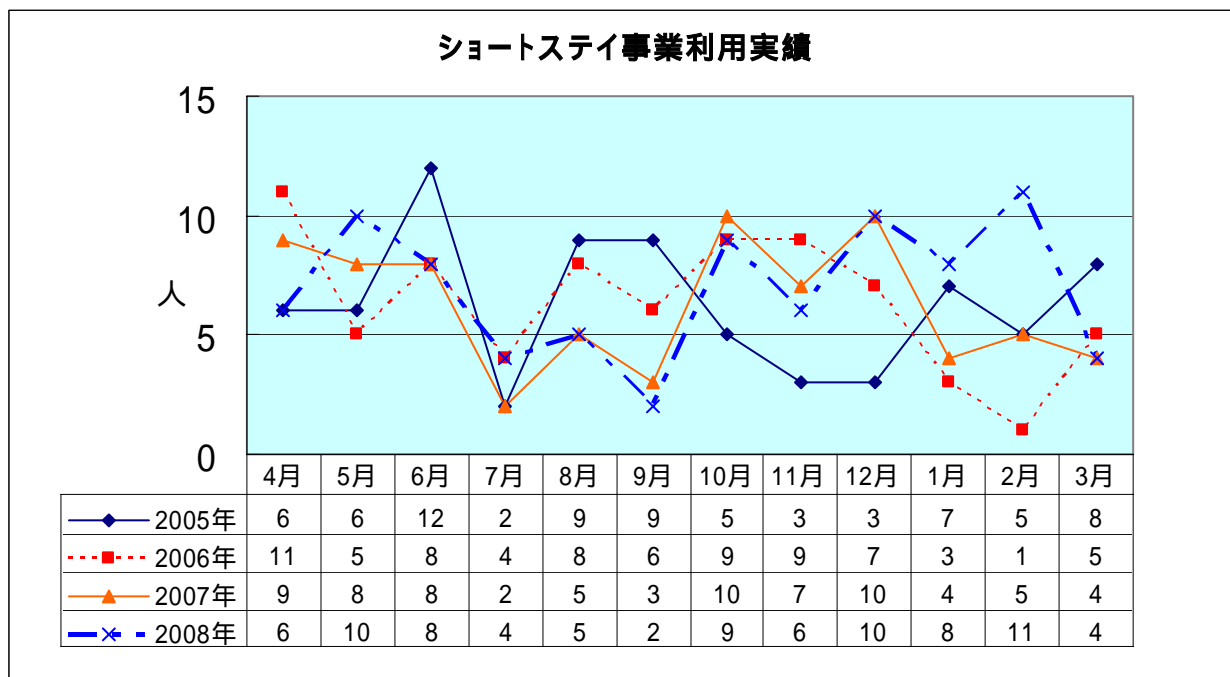
	受け入れ可能日数	実施箇所
2009 年 4 月 1 日現在	48,510 日	33 箇所
2014 年度目標事業量	57,330 日	39 箇所

\* 目標事業量は、実績を考慮し、設定しています。

## 11. ショートステイ事業

ショートステイ事業とは、保護者の方が病気・冠婚葬祭・事故・出産等で一時的にお子さんを保育できない時に、宿泊でお預かりする事業です。町田市では、ショートステイの家「マルガリータ」で行っています。

### (1) 実績



### (2) 推計ニーズ量

今回のアンケート調査では、国から指定された算出項目に該当するものがないので、ショートステイ事業の推計ニーズ量は算出していません。

### (3) 目標事業量

	日数	実施箇所
2009年実施予定	250日	1箇所
2014年度目標事業量	438日	1箇所

2005年～2008年 利用日数
平均 290日

\* 目標事業量は実績を考慮し、設定しています。

#### <説明>

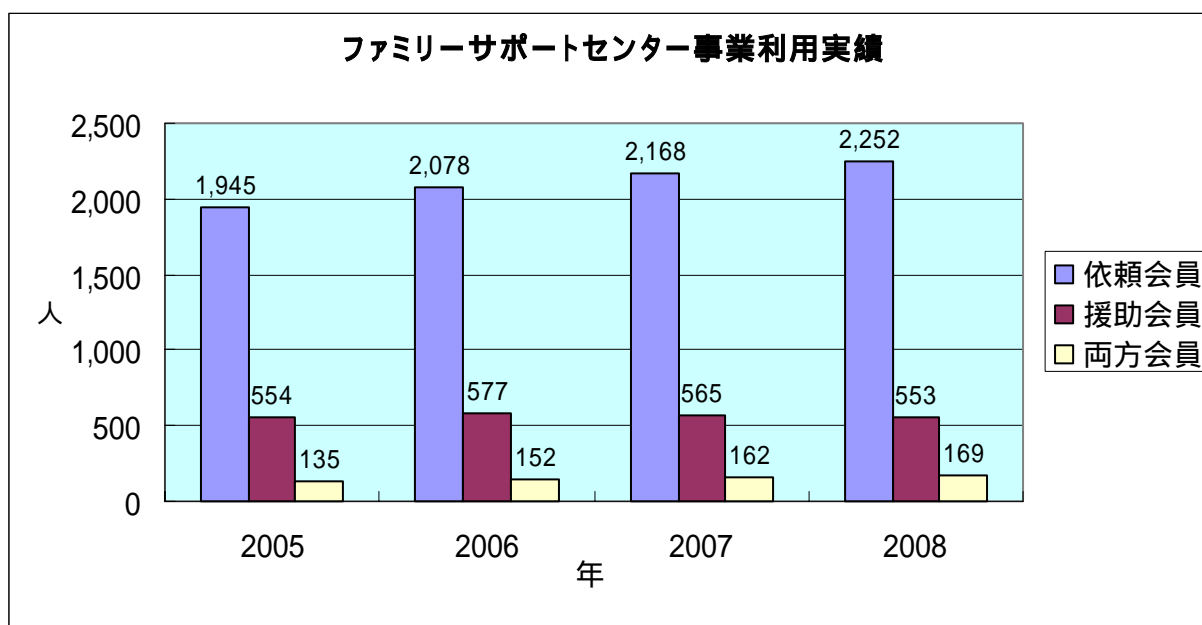
ショートステイの目標事業量は、子ども家庭支援センターが行う、所定の算出方式により得た利用率で算出しています。1泊2日の利用を2日と計算しますので、年間365日より多い数値になります。

## 12. ファミリーサポートセンター事業

ファミリーサポートセンター事業とは、「育児の援助を行う人（提供会員）」と「育児の援助を受ける人（依頼会員）」が会員となり、保育所終了後の時間や外出の際などに、提供会員の自宅で子どもを預かる、有償のボランティア事業です。

### (1) 実績

年度	依頼会員	援助会員	両方会員	利用件数
2005年度	1,945人	554人	135人	14,898件
2006年度	2,078人	577人	152人	15,693件
2007年度	2,168人	565人	162人	15,056件
2008年度	2,252人	553人	169人	16,452件



### (2) 推計ニーズ量

今回のアンケート調査では、国から指定された算出項目に該当するものがないので、ファミリーサポートセンター事業の推計ニーズ量は算出していません。

### (3) 目標事業量

	実施箇所
2009年実施箇所	1箇所
2014年度目標事業量	1箇所

ファミリーサポートセンターの依頼会員や利用件数は年々増加の傾向にあります。今後は事業実績の推移を見ながら検討していきます。

\* 目標事業量は実績を考慮し設定しています。